

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大阪商業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオサカショウギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	ビジネス・インターンシップ
	学部・研究科等名	経済学部・総合経営学部
	担当教職員名・役職	金度淵・准教授、宍戸邦章・教授、豊山宗洋・教授、松村政樹・教授、横見宗樹・教授、和田伸介・教授、橋爪幸彦・マネジャー
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	220
	受入企業等数	103
受入企業等名	http://ouc.daishodai.ac.jp/career/internship/	
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「ビジネス・インターンシップ」の「就業体験」は、多様な形態の企業103社に協力を得て、正社員に準じた職務を体験することにより自身の能力や適性のチェックを行うとともに、職業意識の養成を図ることを目的としている。なお、一部には、学生自らが選定し、企業の許可を得て実習を行う場合もある。具体的な就業体験(実習内容)の一例は次のとおりである。営業体験、カウンター接客、マーケティング調査、PBL型実習など。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学では、この「ビジネス・インターンシップ」を就業体験やビジネスマナーの修得を通して将来の職業意識の養成を図ることを目的に、2単位の専門科目(選択)として位置付けており、3年次のみに履修を許可している。受入れ先での活動は夏期休業期間中に5日間以上実施し、その前後には事前研修、事後学習を行うことにより教育効果を高めている。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	「ビジネス・インターンシップ」の履修を希望する場合、オリエンテーションへの参加を義務付けている。また、シラバスに事前研修の出席状況や取組態度によっては、企業実習に派遣しないことを明記している。

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	電話またはメールにより状況確認を行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全体で「ビジネス・インターンシップ」の内容、姿勢に関するオリエンテーションを行い、その後クラス別研修として、グループディスカッションの方法及び実践、実習先企業研究の発表及び発表に関する講評・ディスカッションを行う。また、外部講師による言葉づかいや職場のルール、ビジネス文書の書き方などのマナー研修のほか、パワーポイント研修を実施する。実習直前には、勤務態度等に関するオリエンテーションを行う。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	クラス別研修として、実習報告、実習報告に関する講評・ディスカッションを行っている。また、参加学生、受入企業関係者、教職員が参加する成果報告会を実施し、参加学生が受入企業での活動状況を披露する。報告を通じて、参加学生が自身の社会人として足りない能力を自覚しているか、職業意識が養成されているかなどをチェックし、今後の学生生活の指針を形成することに繋げるよう指導している。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	本学の窓口であるキャリアサポート室は、学生の受入企業に関する情報(実習場所、実習期間、実習内容、受入条件、担当者など)管理を徹底し、突発的な事項が発生しても対応が可能な連絡体制を構築している。このような体制のもとに、履修学生の対応を迅速かつ丁寧に行い、必要に応じて履修学生の相談に応えるなど、実習中のフォローを行っている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	クラス別実習報告により学生の実習成果を確認する。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「ビジネス・インターンシップ」の成績評価は、「事前・事後研修の取り組み状況(マナーや態度も含む)、職業意識の修得状況」が50%、「企業実習の成績」が50%の配分で評価を行う。これらの評価のエビデンスは、履修学生が実習先企業を調査する「事前研究シート」、受入企業が履修学生の実習中のビジネスマナー、行動力、思考力、チームワークなどを評価する「大阪商業大学ビジネス・インターンシップ評価シート」などである。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	21日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	本学キャリアサポート室は、受入企業と事前に詳細な協議を行っている。協議内容は、受入条件や実習内容を確認し、受入人数と実習期間(実施期間、※原則5日間以上を確保)を策定している。なお、企業によって実習期間(実施期間)が異なり、なかには学生の実習希望日を配慮する企業もあることから、受入企業の情報管理を丁寧に行っている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	

	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	履修学生の業界理解と就労観育成のため、本学と受入企業が協働で、座学と実習プログラムを作成している。また、受入企業が履修学生の実習中のビジネスマナー、行動力、思考力、チームワーク、その他(IT機器操作、経済、経営等に関する知識)などを評価する「大阪商業大学ビジネス・インターンシップ評価シート」を、受入企業と本学が共有し、成績評価に反映している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	(シラバスそのもののURLは年度ごとが変わるので、以下のようにしました。) http://syllabus.daishodai.ac.jp/search ※上記URLから「ビジネス・インターンシップ」で検索
問い合わせ先	大学等名	大阪商業大学
	担当部署名	学長企画室
	担当者役職名	チーフ
	担当者氏名	渡辺直樹
	電話番号	06-6781-0381
	メールアドレス	prp1of@ouc0w.daishodai.ac.jp